

ただいま展示中

陸奥守吉行

刃長 66.7 cm

【写真下】

龍馬は、慶応2年（1866）12月4日兄・権平宛ての手紙で、「古来、国家の難に臨む者には、家宝の甲か刀を分け与えると聞きます。私にも何か頂けませんか」と頼みごとをした。また、同日に書いた権平・一同宛ての手紙には、「刀は二尺一・二寸くらいが良い」とも書いており、これらを読んだ権平は、家宝の「吉行」を選んで龍馬に送った。龍馬は「吉行」をとても気に入り、京都へ行く時にはいつも腰に帯び、家族やご先祖様に背中を支えられて、大政奉還を成功に導いた。

当館の刀の銘は「陸奥守吉行」で、龍馬の佩刀「吉行」の兄弟刀である。



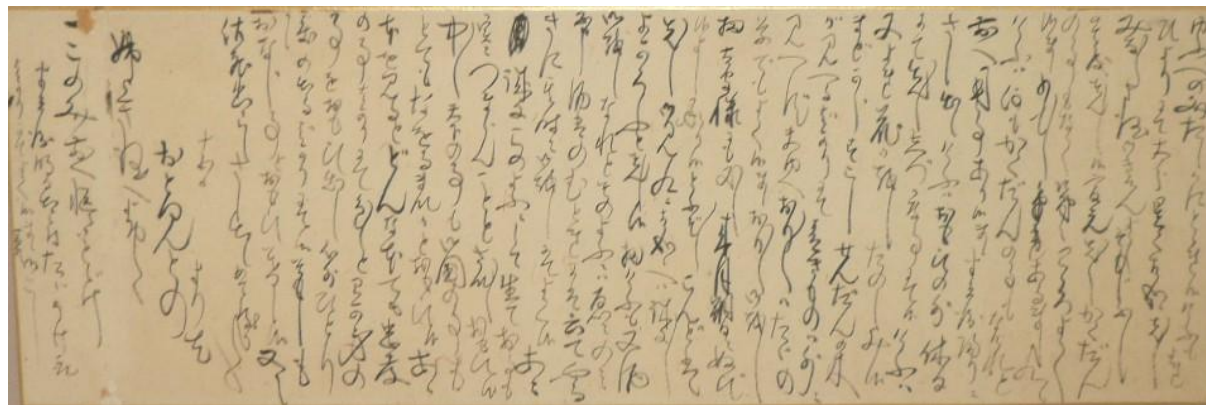
【写真右】本館屋上からは視界いっぱい太平洋が広がる。【写真右下】本館2階では龍馬のフォントシールで名刺が作れる。

公式HPの「龍馬ゆかりの地」は史跡めぐりのバイブル。



高知県立坂本龍馬記念館
The Sakamoto Ryoma Memorial Museum

〒781-0262 高知市浦戸城山830 TEL.088-841-0001



企画展「龍馬の評伝」展 開催中—11/24・新館2階企画展示室

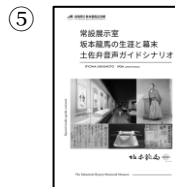
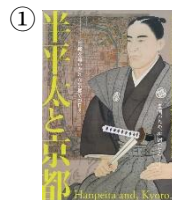
本展は、龍馬と面識のある同時代の人たちを中心に25人の龍馬評を紹介し、龍馬の功績や実像を知ってもらうと同時に、龍馬評を残した人々に関連する資料24点を所蔵品の中から展示している。

【写真上】慶応元年（1865）5月15日 妻・富宛て 武市半平太獄中書簡（直筆）
切腹となる1ヶ月前の手紙。前半には、富が差し入れてくれた花のお礼を伝えており、二人の仲睦まじい様子がうかがえる。後半には、土佐藩や日本の政治に対する諦めの気持ちを綴っている。

オリジナルグッズ

ミュージアムショップにて販売中

- ①図録「半平太と京都」¥500
- ②図録「天誅 土佐藩の奔走」¥500
- ③「龍馬書簡集」＊現代語訳付¥1000
- ④武市半平太クリアファイル¥500
- ⑤特別音声ガイドシナリオ ¥200
- ⑥脇差 勝光・宗光ポストカード ¥100



※ポストカードは10月27日より販売開始

常設展示室

「坂本龍馬の生涯と幕末」
土佐弁特別音声ガイド

坂本龍馬生誕190年を記念した特別音声ガイドで厳選した資料を龍馬の目線で紹介します。まるで龍馬が隣にいて解説をしてくれるような気持ちで展示をご覧ください。



- ・収録時間：約1時間
- ・貸出料金：500円
- ・期間：R.8.3月31日まで
- ・ナレーション：田村心
- 「僕のヒーローアカデミア」The "Ultra" Stage(主演・緑谷出久役)、ミュージカル『刀剣乱舞』（陸奥守吉行役）など多数の作品に出演。

※下記日程は貸出除外日
12月11日～18日、22日、12月27日～1月1日